記者発表資料

平成２９年１０月２５日
国　土　交　通　省
三 陸 国 道 事 務 所

【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

磯鶏（そけいち く）地区でトンネルの安全祈願祭を開催

～　磯鶏トンネル（仮称）の工事に本格着手　～

宮古箱石道路（復興支援道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして１日も早い完成を目指し、従来にないスピードで事業を進めているところです。

このたび、宮古箱石道路の「磯鶏トンネル（仮称）（延長 1,554m）」に本格着手することとなりました。

つきましては、被災地の一日も早い復興と工事の安全を祈念して、安全祈願祭を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

■　日　　時　：　平成２９年１０月３１日（火）１５：００から（約１時間００分）
■　場　　所　：　宮古市磯鶏地内・・・別紙－１（案内図）参照
■　主　　催　：　（施工者）大成建設株式会社 東北支店
■　安全祈願祭の概要
- 神　　事（鍬入れ）
- 工事概要説明
- 発注者挨拶
- 来賓祝辞

■　事業概要　：　別紙－２
■　そ の 他　：　雨天の場合も実施します。

《 発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会 》

問い合わせ先

【今回の式典や施工内容に関する問い合わせ】
○ 国道 106 号　磯鶏地区道路工事
大成建設株式会社 東北支店　国道１０６号磯鶏地区道路工事作業所
〒027-0021　宮古市藤原二丁目２番地１６
所　　長　山下（やました） 勝紀（かつのり）　電話 0193-77-5162

【事業に関する問い合わせ】
○ 国土交通省　東北地方整備局　三陸国道事務所
副 所 長　平岡（ひらおか） 弘志（ひろし）（内線 204）　電話 0193-62-1711（代表）
宮古西維持出張所　所長　佐藤（さとう） 寛之（ひろゆき）　電話 0193-71-1760

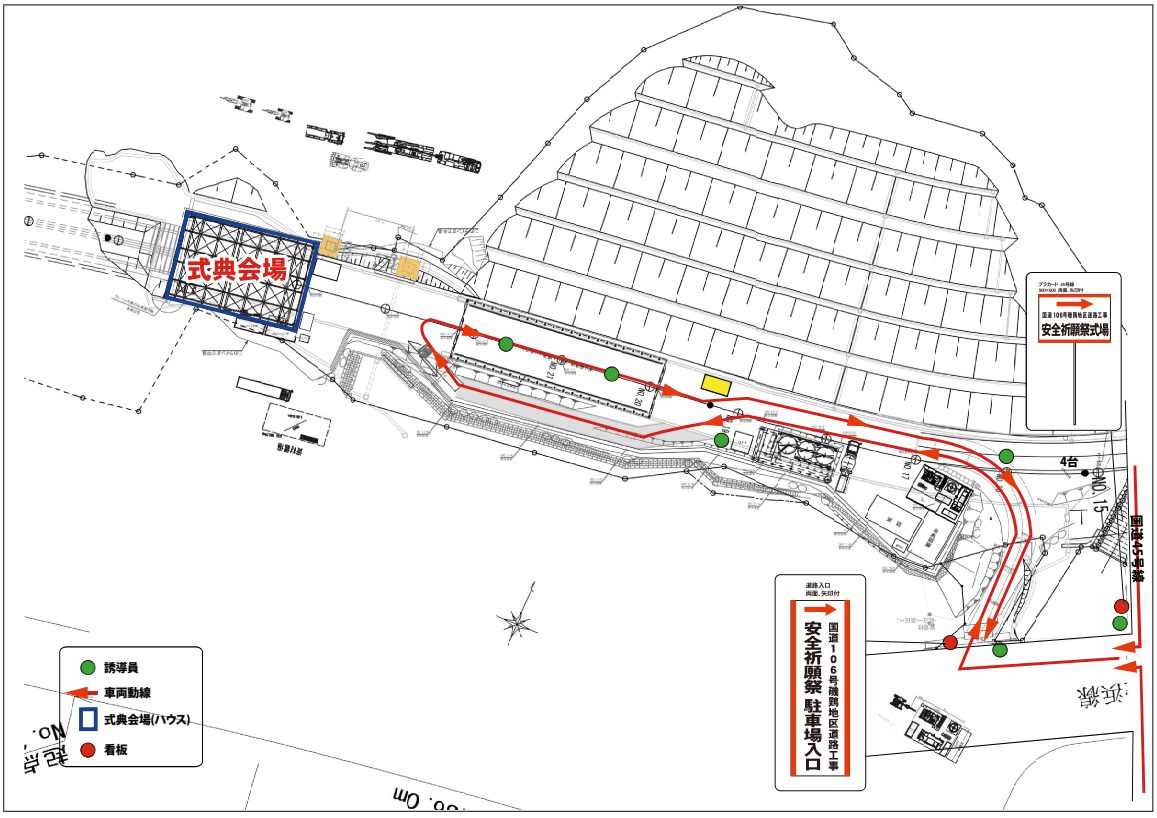
（復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、三陸国道 で検索できます。）

会場案内図

別紙－１



【拡大図】



別紙－２

宮古箱石道路（宮古～箱石）Ｌ＝３３ｋｍ

路線概要

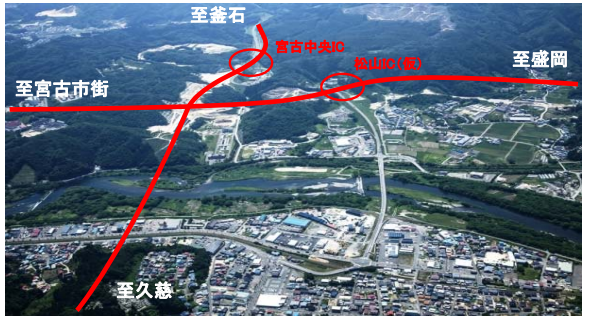
宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ全長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路(宮古～箱石)」は宮古市藤原から箱石間の約33kmにおいて、岩手県より権限代行で整備する区間です。

国道106号の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により県都盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

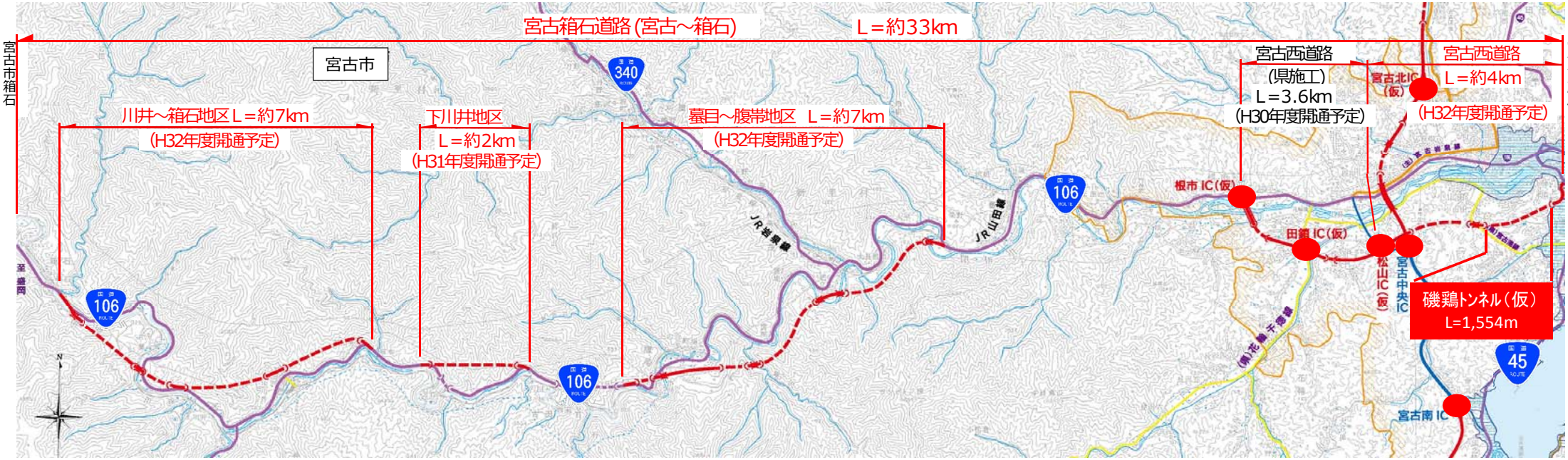
平成29年度は、用地買収、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を促進し、平成31年度に下川井地区、平成32年度に宮古市藤原～松山IC(仮)、蟇目～腹帯地区、川井～箱石地区の開通を目指します。

計画諸元

	宮古箱石道路(宮古～箱石)	
起　点	宮古市藤原	
終　点	宮古市箱石	
延　長	33km	
工　区	(宮古西道路)※国施工分	(蟇目～腹帯地区、下川井地区、川井～箱石地区)
幅　員	２車線 13.5m	２車線 12.0m
構造規格	第１種第３級	第３種第２級
設計速度	80km/h	60km/h



久慈方面から松山IC(仮)付近を望む



災害時における緊急輸送路の確保

■東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
■宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路



▼津波により寸断された国道

写真①　宮古市愛宕交差点



写真②　宮古市磯鶏地区



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

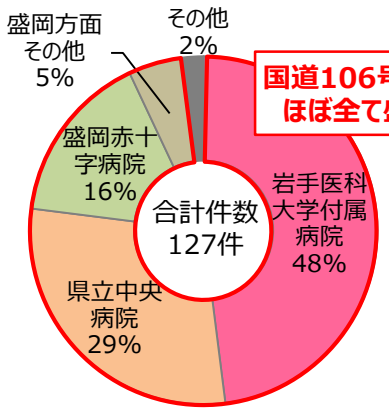
■宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、全て盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
■宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼国道106号は線形不良個所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去１０年間）
回　　数：　　２２回
合計時間：１１１時間　資料：岩手県（H17-H26）

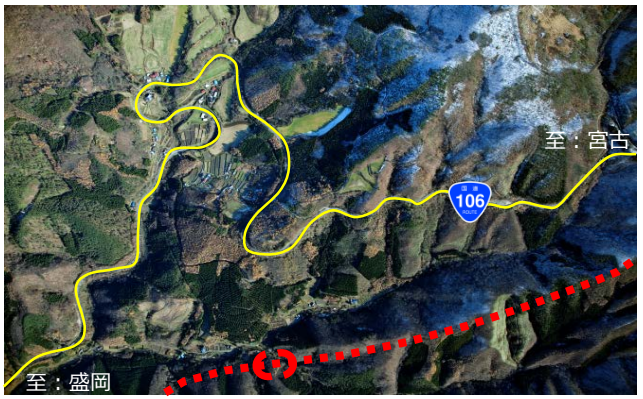


▼宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への搬送状況（H28）



※国道106号沿線地域
宮古消防署・新里分署・川井分署
資料：宮古地区広域行政組合
消防本部搬送実績

▼　区界地区の急カーブ状況



宮古～箱石区間の国道106号
急カーブ箇所
（R<150m）
14箇所

▷

宮古箱石道路
急カーブ箇所
（R<150m）
0箇所

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

■三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
■三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
（八幡平市入込客数
：175万人/年）



遠野盆地
（遠野市入込客数
：168万人/年）



展勝地
（北上市入込客数
：133万人/年）

世界遺産 平泉
（平泉町入込客数195万人/年）







※入込客数は、平成27年度の値です。

三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



（宮古市入込客数：122万人/年）

船越半島大釜崎（山田町）



（山田町入込客数：23万人/年）

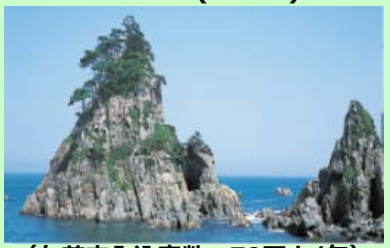
碁石海岸（大船渡市）



（大船渡市入込客数：100万人/年）

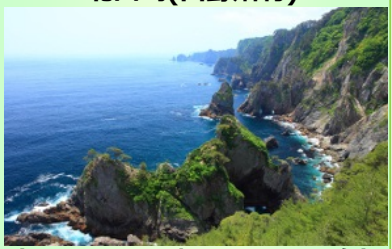
三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



（久慈市入込客数：79万人/年）

北山崎(田野畑村)



（田野畑村入込客数：55万人/年）

龍泉洞（岩泉町）



（岩泉町入込客数：43万人/年）

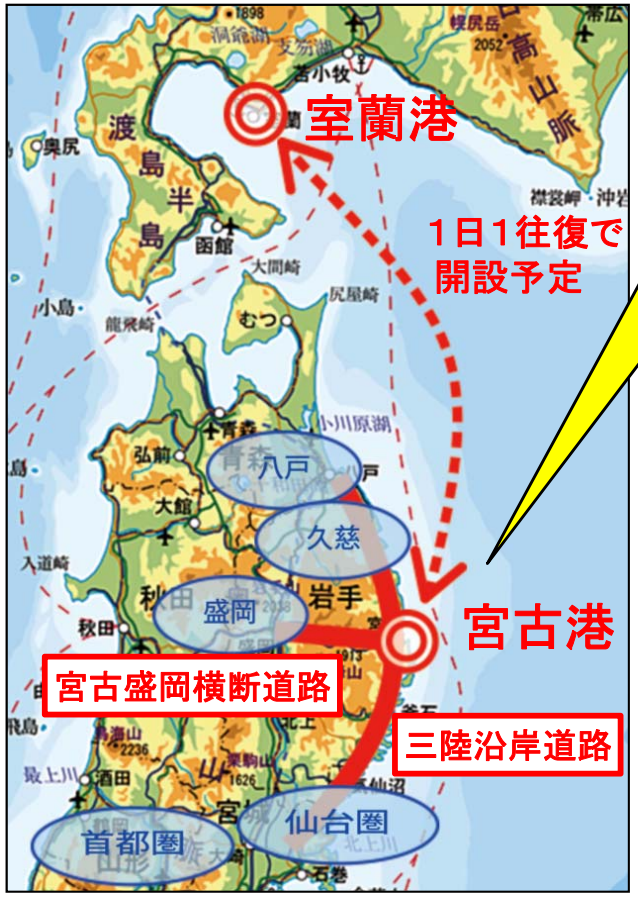
※資料：岩手県観光統計（平成27年、平成28年）

フェリー就航で北海道との広域交流が活性化

○宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設（岩手県初の運航）。
○三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。
○北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与。

■復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図



▼宮古港周辺の道路整備状況



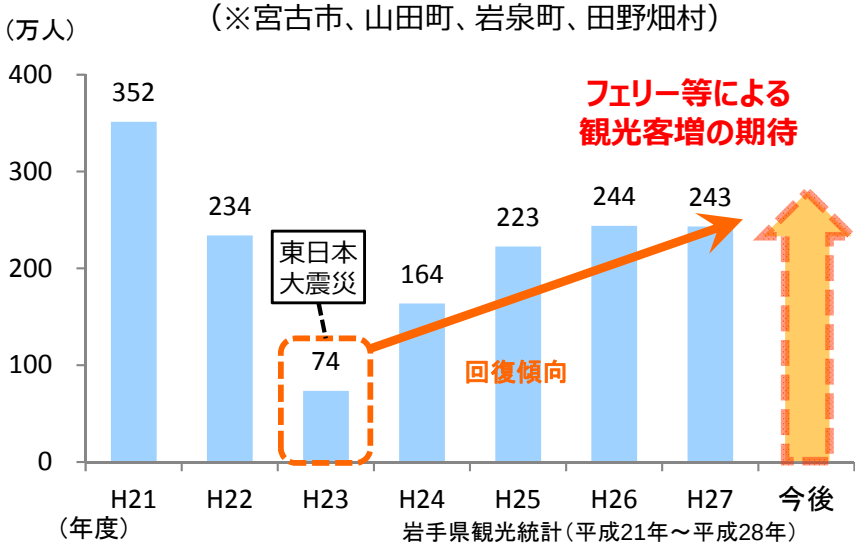
▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



▼航路概要
（川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋）

- ●開設時期　**平成３０年６月２２日決定（H29.9.1発表）**
- ●運行計画　１日１往復、毎日運行
- ●選定理由
  - ①急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
  - ②トラックドライバーの休憩時間８時間を確保できる最適な航路
  - ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
  - ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい。

▼観光入込客数の推移と期待
（※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村）



岩手県観光統計（平成21年～平成28年）